

・今月のピックアップ・



→ 梶よう子 著 新潮社 刊

『広重ぶるう』

美人画は「色気がない」、役者絵は「似ていない」と酷評されてばかりの歌川広重。鳴かず飛ばずの貧乏暮らしのなか、舶来の高価な顔料「ペロ藍」の、深く澄み切った色味を目にした広重は、この青でしか描けない画があると一念発起する。葛飾北斎、歌川国貞が人気を博した時代に、日本の美を発見した名所絵で一世を風靡し、遠くゴッホをも魅了した絵師の、比類なき半生を描く傑作長編。
(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書館

「作家刑事毒島の嘲笑」 中山七里著
「DVD 砂の器」 野村 芳太郎 監督
「デジタルマスター2005」

「18歳成人になる前に学ぶ 契約とお金の基本ルール」 消費者教育支援センター 監修

「介護状態にならないための かんたん運動プログラム」 レコードブック 著

「まよなかのトイレ」まるやまあやこさく
「サイコーの通知表」 工藤 純子 著

「子どものハンドメイドレッスンBOOK」 松村忍 監修

11月の休室日

月曜日、祝日、
月末休室(30日)

横田コミュニティセンター図書室

「おいしいごはんが食べられますように」 高瀬 隼子 著

「よって件のごとし」 宮部 みゆき 著

「子どもと親のためのワクチン読本」 母里 啓子 著

「メンタルを強くする食習慣」 飯塚 浩 著

「宿題ファイター」よしなが こうたくさく

「おおきなかぼちゃ」エリカ シルバーマン 作

「オオムラサキと里山の一年」 筒井 学 写真と文

11月の休室日

日曜日、祝日、
1日〜7日
(文化祭・蔵書点検のため)

広報カメラ記録

奥出雲のソバ



今年も秋がやってきました。奥出雲町の特産品のソバも、白い花を咲かせています。
ソバは奥出雲でも古くから栽培されてきました。その理由の一つは、播種から収穫までの期間が短いため、食料不足の際に主食を補う救荒食物として最適であったためとされています。一方で、お祭りの日や大晦日にそば切りを食べるなど、人びとの楽しみでもありました。江戸時代に出雲を治めた松江藩の藩主、松平不昧公も大のそば好きだったとされます。また、昭和初期に島根の民芸運動を育てた太田直行も、仁多郡産の品質が出雲で一番と評しました。
晩秋には、いよいよ新ソバの時期が始まります。美味しいソバが待ち遠しいですね。